



赤い羽根共同募金運動

令和5年度事業報告

～ あなたのやさしさが だれかのちからになる ～



(令和5年度静岡県版ポスター)

社会福祉法人静岡県共同募金会

目 次

第1部 概 要

1 募金状況 -----	1
2 助成状況 -----	1

第2部 事業実施状況

第1 募金活動

1 社会的ニーズの把握 -----	3
2 助成要綱の制定 -----	3
3 助成申請の受付 -----	3
4 助成計画の策定と目標額の設定 -----	3
5 広報活動 -----	4
(1) 県民全体への広報 -----	4
(2) ホームページによる広報 -----	6
(3) 報道機関による広報協力 -----	6
(4) 地元サッカーチームによる広報協力 -----	8
(5) 静岡県による広報協力 -----	8
(6) 静岡県社会福祉協議会による広報協力 -----	8
(7) 赤い羽根若者向けプロジェクト～芸術系高等学校による広報協力 -----	9
6 寄付依頼活動(募金活動) -----	9
(1) 赤い羽根共同募金 -----	9
① 一般募金 -----	9
② 課題解決プロジェクト募金 -----	12
(2) 地域歳末たすけあい募金 -----	12
(3) NHK 歳末たすけあい -----	13
7 新しい募金手法による寄付の受入(年間を通した寄付) -----	13
(1) 社会貢献型自動販売機による寄付 -----	13
(2) 物品による寄付 -----	14
(3) 寄付つき商品による寄付 -----	14
(4) ネット募金 -----	15
(5) 中央共同募金会受付の寄付(静岡県分) -----	15

第2 助成活動

1 共同募金による助成 -----	16
2 緊急等助成資金による助成 -----	17
(1) 災害ボランティアセンター設置・運営費助成(令和5年6月2日からの大雨等災害) -----	17
(2) 災害見舞金 -----	17
(3) “赤い羽根”災害ボランティア活動用機器整備事業 -----	17

3 “赤い羽根”ふじのくに夏休みこども食堂支援セット助成事業 -----	18
(1) 寄付の状況-----	18
(2) 助成先-----	18
(3) 贈呈式-----	18
4 助成効果の測定と実地監査の実施 -----	19
(1) 市町社会福祉協議会による地域福祉活動 -----	19
(2) 福祉施設機器整備(修繕含む) -----	19
(3) 広域活動団体による地域福祉活動 -----	19
第3 その他の活動	
1 災害等準備金の状況 -----	20
2 災害義援金の状況 -----	21
3 共同募金以外の特定寄付金、指定寄付金の受入れと助成 -----	22
4 他団体助成事業の受託事務 -----	22
5 顕彰活動 -----	22
第4 小山町社会福祉協議会元職員による不祥事案件	
1 不祥事案件の概要及び小山町社協の対応 -----	24
2 本会の対応 -----	25

第3部 法人運営

第1 会務の運営	
1 理事会 -----	26
2 評議員会 -----	27
3 監事監査 -----	28
4 評議員選任・解任委員会 -----	28
5 配分委員会 -----	28
6 本会開催の会議等 -----	29
第2 その他の会務の運営	
1 関係機関との連携 -----	30
2 共同募金運動募金経費 -----	30
3 社会福祉法人指導監査 -----	30
第3 社会福祉法人静岡県共同募金会役員等名簿 -----	31



第1部 概要

コロナ禍の爪痕や多発する災害下での“赤い羽根”共同募金運動

“赤い羽根”共同募金運動は、昭和22年に国民一人一人が助け合いの精神で取り組む「国民たすけあい運動」として始まって以来、募金ボランティアの尽力により、これまでの77回の運動で静岡県内の寄付金総額は約324億円、助成総額は約286億円に上り、それぞれの時代における福祉課題を解決してきた。

令和2年から蔓延した新型コロナウイルス感染症は、令和5年度には感染症法上の位置付けが5類に移行し、季節性インフルエンザと同様の取扱いになったが、長期化するコロナ禍の爪痕や物価高騰等の様々な影響を受け、生活困窮者や孤独・孤立の問題はこれまで以上に深刻化している。また、近年多発する台風や地震災害等で被災された方々への支援も大きな課題となっており、制度外ニーズへの対応も含めて、“赤い羽根”は時代の求める様々な支援に応える大きな役割を担っている。

1 募金状況

令和5年度は、令和5年9月8日付け厚生労働省告示第266号により令和5年10月1日から翌年3月31日までの6カ月間を運動期間と定め、目標額を5億4500万円として県内全域で運動を展開した。

ここ数年控えていた対面方式の運動を増やし、多くのボランティアの皆さんとともに安全で安心できる運動に努め、募金活動では、戸別募金を中心に丁寧な説明を行うとともに、法人募金ではダイレクトメールの活用、近年の新しい募金手法では、課題解決プロジェクト募金、ネット募金、寄付物品の受入などにも積極的に取り組んだ。

その結果、対前年比では▲4.0%の減少となったが、約4億8734万円を確保し、経済的困窮や社会的孤立等で苦しんでいる方々を支援しようという県民の皆様の思いが集まった運動となった。

区分	目標額 (円)	実績額 (円)	達成率 (%)	前年度比較	
				増減額(円)	比率(%)
一般募金	347,398,000	298,673,057	86.0	▲15,318,299	95.2
(うち課題解決 プロジェクト募金)	(4,380,000)	(4,111,983)	(93.9)	(▲3,635,827)	(53.1)
地域歳末たすけあい募金	179,050,000	174,032,799	97.2	▲2,487,421	98.6
NHK歳末たすけあい	18,552,000	14,639,088	79.0	▲2,848,078	83.8
合計	545,000,000	487,344,944	89.5	▲20,653,798	96.0
前年度	545,000,000	507,998,742	93.3	▲7,543,991	98.6

(市町共同募金委員会別の実績額は別冊統計資料 5～9ページ)

2 助成状況

「つながりをたやさない社会づくり～あなたは一人じゃない～」をテーマに、高齢者を支える仕組みづくり、障害者が地域で生活するための福祉施設の機器整備、こどもを虐待から守る取り組み、ひきこもりからの回復を目指す取り組み、コロナ禍以降の生活困窮者を支援する取り組みなど、多様なニーズに即した助成を行うとともに、募金額の3%を災害対応のために積み立てた。

その結果、助成実績は、278件、4億3004万円余となり、福祉関係団体等の幅広い要望にすべて応えることができた。

区分	助成 件数	助成額(円)	前年度比較		
			増減数	増減額(円)	比率(%)
一般募金	173	241,006,270	▲46	▲11,340,091	95.5
地域歳末たすけあい募金	34	168,738,444	0	▲2,794,459	98.4
NHK歳末たすけあい	71	20,304,000	1	▲266,000	98.8
合計	278	430,048,714	▲45	▲14,494,550	96.8
前年度	323	444,543,264	13	▲21,810,087	95.4

(助成実績は別冊統計資料 14～36ページ)



第2部 事業実施状況

近年、地域福祉課題が多様化、個別化、複雑化しており、コロナ禍以降、これまで以上に様々な課題を抱え支援を必要とする人たちが増えたことをはじめ、制度外ニーズや社会的孤立への対応が求められている。また、令和3年7月の熱海市土石流災害、令和4年9月台風第15号災害、令和5年6月大雨災害、令和6年能登半島地震災害など、近年相次ぐ災害への対応が大きな社会的課題になってきている。

一方で、社会貢献活動の多様化やキャッシュレス決済の加速等に伴い、平成7年度をピークに募金額の減少が続くなど、共同募金を取り巻く課題も大きくなっている。

厳しい状況が続くなか、令和5年度の活動実施にあたっては、さらなる赤い羽根共同募金運動の推進を図るため、次の5本柱(重点方針)に沿って活動を展開した。

1 多様化する地域福祉課題に対する助成メニューの充実

既存の制度やサービスでは対応できない多様な地域福祉課題に対応するため、中央共同募金会が行う「ポスト・コロナ社会に向けた福祉活動応援キャンペーン」に対応した「地域での孤立に気づき、つながり、見守る人材の養成や実践活動を支援」する助成メニューを実施するなど、人に寄り添う“赤い羽根”らしい助成メニューを充実する。

- コロナ禍における地域での孤立を防ぐ活動への支援
- 「地域共生社会」の実現のための助成
- 子どもを孤立から守るための助成
- 身近な福祉課題を解決するための助成

2 多様化する寄付ニーズに応える寄付方法の提案

- 募金増額に向け、「使いみちの見える化」により戸別募金の増強を図るとともに、課題解決プロジェクト募金、各種インターネット募金や遺贈・相続寄付など、新しい募金手法に挑戦する。
- 社会貢献に関心を寄せる企業に対して、地域共生社会づくりにつながるSDGsの趣旨に即した寄付、寄付つき商品(募金百貨店)、社会貢献型自動販売機設置、企業や従業員からの寄付、物品寄付など、多様化する寄付ニーズに適切に応える寄付の方法を提案する。

3 頻発する災害への対応力強化

昨年9月の台風第15号による大雨被害で県内各地に大きな被害が発生するなど、近年頻発する地震や風水害等の災害を受け、地域の災害への対応力強化のため、災害等準備金、緊急等助成資金を活用した災害ボランティアセンターに係る助成、災害見舞金の支援、災害ボランティア活動に備えた活動用の機器整備助成を通じた協力体制づくりの支援や災害義援金の募集など、被災地支援の充実強化を図る。

4 赤い羽根の知名度を活用した積極的な広報の推進

助成先での赤い羽根ロゴマークの掲出、助成メニューへの“赤い羽根”の冠化、広報用DVDの活用、マスコミへの資料提供など、「赤い羽根」の知名度を活用した積極的な広報に努める。

5 社会福祉協議会との連携強化と開かれた組織の推進

- 募金活動及び助成活動で大きな役割を果たしている県及び市町の社会福祉協議会との情報交換を密にして、共同募金運動の活性化や運用改善に取り組む。
- 運動性の再生を図るため、自らも機能強化を図るとともに、市町共同募金委員会の組織の強化などを支援する。
- 経営組織のガバナンス強化、事業運営の透明性を図り、寄付者に信頼される開かれた共同募金会を目指す。



第1 募金活動

共同募金は、地域福祉活動を進めるため、あらかじめ使いみち(助成計画)や目標額(募金計画)を定めて行う計画募金である。そのため社会的ニーズに即した助成要綱を定め、広く要望を取りまとめたうえで、助成計画及び募金目標額を定めて募金活動を展開した。

1 社会的ニーズの把握

(1) 県及び市町社会福祉協議会との連携

- ① 共同募金の実施に先立ち、静岡県社会福祉協議会に対して、社会福祉法第119条の規定に基づき、目標額、助成の範囲等に対する意見を求めた。
- ② 市町社会福祉協議会は、地域福祉活動の主たる実施主体として地域福祉活動計画等を定め、地域ニーズに即した活動を積極的に展開しており、活動財源としての共同募金の役割も大きいことから、常に連携を図り共通認識の形成に努めた。
併せて、地域福祉活動計画の策定・見直し時には、多様な活動の資金調達手法の一つとして共同募金を積極的に計画に位置づけ、共同募金運動そのものが活性化するように周知・徹底を行った。

(2) 助成施設団体等との意見交換

助成先が抱える福祉課題について、共同募金の助成を通じて課題解決が図られるよう、申請時や実地調査等の際に意見交換を行い、現状と将来展望の把握に努めた。

(3) 行政機関との意見交換

最近の行政施策の動向、施設整備等の補助制度の内容等について、行政機関と意見交換を行い、公的支援制度で対応できない諸課題について情報収集に努めた。

2 助成要綱の制定

助成要綱は、共同募金の基礎となるものであるため、社会的ニーズに合わせて見直しを行い、助成基準の明確化、助成事例の例示など寄付者と助成先の双方に分かりやすい内容とした。

また、透明性、客観性、公平性を確保するため、助成対象となる活動主体、内容、対象経費等の助成条件、応募方法、審査方法等について、配分委員会の意見を踏まえたうえで制定した。

3 助成申請の受付

助成申請の募集では、助成情報の広報に努め、偏りのない幅広い助成先の掘り起こしに努めた。

主な申請受付期間	令和5年4月3日(月)～5月15日(月)
----------	----------------------

(広報方法)

- (1) 助成要綱・要領を広く県民が閲覧できるよう、ホームページで公表
- (2) 市町社会福祉協議会、社会福祉法人、特定非営利活動法人等に助成案内を直接送付
- (3) 静岡県ボランティア協会、静岡県社会福祉協議会、ふじのくにNPO活動支援センター、男女共同参画センターあざれあに、ホームページ及びメールマガジンなどへの掲載依頼
- (4) 市町共同募金委員会においても、それぞれの地域で助成説明会を開催

4 助成計画の策定と目標額の設定

- (1) 助成申請を基に助成計画を策定し、これに経費を加え募金目標額とした。令和5年度は、前年度と同額の5億4500万円とし、配分委員会の承認後、7月14日の理事会で決定した。

- (2) 社会福祉法第119条に基づき、募金の目標額、受配者の範囲、配分方法を、9月29日付けの官報で公告した。



令和5年度共同募金 申請状況・助成計画・目標額

(単位:千円)

募金区分	申請状況		助成計画 ①	経 費 ②	目標額 (①+②)
	件数	申請額			
一般募金	108	268,898	279,191 《278,879》	68,519	347,398
地域歳末 たすけあい募金	34	173,816	173,816 《173,816》	5,234	179,050
NHK歳末 たすけあい	申請受付期間 9月1日～10月31日		30,461 《17,754》	798	18,552
計	142 (143)	442,714 (449,141)	483,468 《470,449》 (491,926)	74,551 (74,551)	545,000 (545,000)

《 》書き:助成計画のうち募金が必要な額(積立金取崩等、既に財源があるものを除く)

()書き:前年度実績

(助成計画、市町別目標額は別冊統計資料 2～3ページ)

5 広報活動

(1) 県民全体への広報

① 街頭キャンペーン活動

共同募金運動への理解を深めるため、運動初日の10月1日(日)の午前11時～11時30分に新静岡セノバけやき通り口において、会長、副知事及び静岡市副市長等による街頭キャンペーンを実施した。運動開始のPRに重点を置き、当日は、少人数の募金ボランティアとして、静岡英和女学院高等学校の生徒会役員4名、静岡豊田幼稚園の園児4名及び清水エスパルスのマスコットキャラクター「パルちゃん」が参加し、赤い羽根への協力を呼び掛けた。



(新静岡セノバでの街頭キャンペーン)

街頭キャンペーン募金実績	20,864 円	(前年度:29,831 円)
--------------	----------	----------------

② 30市町共同募金委員会においても、10月1日の運動開始以降、駅や繁華街等において、福祉団体関係者、ボランティアによる街頭募金等の宣伝活動を行い、延べ184か所(前年比99.5%)で実施した。

③ 「使いみちの見える化」を図り新たな募金につなげるため、運動開始前に本年度申請事業の内容と昨年度の助成先を紹介する市町版各戸配布チラシを全戸配布(または回覧)し、赤い羽根共同募金の意義と必要性をアピールした。

特に助成金の7割以上を活用している市町社会福祉協議会が行う事業を中心に掲載し、赤い羽根共同募金が身近な地域福祉活動に役立っていることを広報した。

④ 「広報用ビデオ」を自治会・町内会の募金の協力依頼や民生委員への理解促進、募金ボランティア研修などに幅広く活用し、赤い羽根共同募金の周知に努めた。

⑤ 各種資材を活用し、各世帯、企業、学校などへの広報活動を実施した。

	資 材 名	作成・購入数	備 考
本 会 作 成 ・ 購 入	赤い羽根(シール・針)	1,350,000本	各世帯用(購入)
	ポスター(静岡県版 B2・B3・A2)	12,150枚	各所掲出用(作成)
	若者向け壁新聞	2,700枚	各中学・高校掲出用(作成)
	赤い羽根共同募金への寄付と税制優遇(A4 三つ折り)	28,300枚	寄付者用(作成)
	市町版各戸配布用チラシ(A4)	629,600枚	各世帯用(作成)
	法人開拓用チラシ(A4)	17,300枚	企業用(作成)
	全県版チラシ(A3)	3,300枚	一般用(作成)
	課題解決プロジェクト募金団体チラシ(A4)	14,400 枚	// (作成)



	資 材 名	作成・購入数	備 考
	課題解決プロジェクト募金参加団体一覧チラシ(A3)	4,000枚	// (作成)
	募金ボランティアバッジ	4,300個	募金ボランティア用(購入)
	ボランティア活動の手引き(A4 三つ折り)	23,000枚	// (作成)
	募金ボランティア委嘱状(A5)	2,900枚	// (作成)
	静岡県知事名挨拶状(A4)	10,000枚	企業用(作成)
	静岡県商工会議所連合会会長・商工会議所会頭連名挨拶状(A4))	56,920枚	15商工会議所会報誌に同封(作成)
	静岡県商工会連合会会長・商工会会長連名挨拶状(A4)	9,680枚	12商工会(作成)
	市町共同募金委員会会長名領収書(冊子型)	20,130枚	戸別等市町共募領収書(作成)
	市町共同募金委員会会長名領収書(バラ型)	20,070枚	// (作成)
	静岡県共同募金会会長名領収書(冊子型)	50,340枚	法人等税控除用領収書(作成)
	静岡県共同募金会会長名領収書(バラ型)	14,185枚	// (作成)
中 央 共 募 作 成	払込取扱票	28,000枚	ゆうちょ銀行振込用(作成)
	企業向パンフレット	1,795冊	企業用(購入)
	基礎パンフレット(赤い羽根リーフレット)	782冊	一般用(購入)
	子ども向けパンフレット	1,765冊	学校用(購入)
	壁新聞(B2)	1,500枚	// (購入)
	赤い羽根ブランドブック	146冊	一般用(購入)
	学校募金ハンドブック(全国版)(12 頁)	6,500冊	学校用(購入)
	子ども用ワッペン(ドラえもん)	9,600個	// (購入)
	子ども用クリアファイル	5,210枚	// (購入)
	募金バッジ	499個	寄付者用(購入)
	エコバッグ	50個	募金ボランティア用(購入)
	ボールペン	1,200本	// (購入)
	募金箱用チラシ	724枚	一般用(購入)
	スタンド式募金箱	10個	// (購入)
	スタンド式募金箱(脚のみ)	1個	// (購入)
	街頭肩掛募金箱	61個	街頭用(購入)
	卓上募金箱	113個	一般用(購入)
	職域募金箱	2,420個	// (購入)
	組立式募金箱(ドラえもん)	52,650個	学校用(購入)
	募金箱用チェーン	70本	募金箱用(購入)
	募金箱用鍵	12個	// (購入)
	旗布のみ	33枚	// (購入)
	スタッフジャンパー	4枚	街頭用(購入)
	プレミアム赤い羽根バッジ	37 個	県共同募金会役職員用(購入)
	プレミアム赤い羽根バッジ	29 個	市町共同募金委員会用(購入)
	寄付つきプレミアム赤い羽根バッジ	271 個	寄付つき商品用(購入)
	寄付つきクオカード	2,715枚	// (購入)
	寄付つき図書カード	1,545枚	// (購入)

⑥ 「“赤い羽根”助成認知度アッププロジェクト」の実施（新規）

赤い羽根共同募金運動を活性化するためには助成金の使いみちを知ってもらうことが重要であり、特に県民に身近な市町社会福祉協議会が行う地域福祉活動は多岐に亘ることから、赤い羽根の使いみちを寄付者に分かりやすく明示するため、“赤い羽根”助成認知度アッププロジェクトを開始した。

初年度の令和5年度は、「STEP1 “赤い羽根”助成標示強化プロジェクト～見せます使いみち～」と題し、赤い羽根の助成金を使った市町社協の事業について以下の取扱いを行うこととし、県民に赤い羽根の使いみちを伝える取り組みを始動させた。

ア.赤い羽根の助成金を使ったすべての事業名の冒頭に“赤い羽根”の表記をつけること

（例：“赤い羽根”地区社協助成事業、など）

イ.助成金交付時(令和6年4月締切)に、共同募金を財源に社会福祉協議会から助成する事業について、タイトル名を冠した助成要項を提出すること



(2) ホームページによる広報

ホームページを活用し、共同募金運動の実施状況や助成情報を提供するとともに、寄付者への感謝と募金の「使いみちの見える化」に努めた。

- ① 助成情報の周知(助成要綱、申請用紙などをダウンロードできる仕組み)
- ② 助成を受けた施設・団体からの「ありがとうメッセージ」を公開
- ③ 学校や企業・団体による寄付金贈呈、寄付に対する感謝状贈呈等を掲載
- ④ 新たに、赤い羽根共同募金を応援する学校や企業・団体等からいただいた応援メッセージを紹介し、共同募金運動を盛り上げる機運を醸成
- ⑤ 課題解決プロジェクト募金の参加団体が掲げるテーマとその目標額・実績額(随時更新)を掲載し、インターネットから寄付ができる仕組みを強化
- ⑥ 中央共同募金会とリンクして、全国キャンペーンや共同募金に関する情報を発信
- ⑦ 助成先のホームページに共同募金のバナーをつけることを促しリンクを強化

(3) 報道機関による広報協力

- ① 8月23日及び31日に、会長が日本放送協会静岡放送局、民放テレビ局(4局)、新聞社(1社)の代表者を訪問し、共同募金運動の報道や、助成先への取材による使いみちの紹介、プレミアム赤い羽根バッジ販売の紹介などについて、直接広報協力の依頼を行った。

その結果、次のとおり、共同募金運動の開始や様々な使いみち等について報道された。

■テレビ・ラジオ報道(把握分)

放送局名	番組名	内容	放送日
日本放送協会 静岡放送局 (NHK)	たっぷり静岡	NHK 歳末たすけあいオープニングセレモニー	12/1
	お知らせ(ラジオ)	プレミアム赤い羽根バッジ紹介	随時
静岡第一テレビ (SDT)	NNN ストレイトニュース	赤い羽根ふじのくに夏休みこども食堂支援 セット贈呈式	8/10
	FRONT zero	10/1 街頭キャンペーン	10/1
静岡放送 (SBS)	お買いものいいね!	赤い羽根ふじのくに夏休みこども食堂支援 セット贈呈式	8/22
		能登半島地震義援金贈呈式	2/20
	上田朋子の Going My West (ラジオ)	番組コーナー「磐田情報局」内で磐田市共同 募金委員会からの共同募金運動を周知	10/13
静岡朝日テレビ (SATV)	いろどりナビ	赤い羽根ふじのくに夏休みこども食堂支援 セット贈呈式	9/4
	ANNスーパーJチャンネル (県内ニュース)	赤い羽根の使いみち紹介(しずおかキッズカフェ)	9/9
		10/1 街頭キャンペーン	10/1
テレビ静岡 (SUT)	ただいま! テレビ	赤い羽根の使いみち紹介(聴覚障害者協会)	9/21
	FNN Live News イット!	10/1 街頭キャンペーン	10/1
	チョット! いいタイム	能登半島地震義援金贈呈式	3/14
シティエフエム静岡 (FM-Hi!)	ひるラジ! 静岡情報館	課題解決プロジェクト募金の紹介 (補助犬支援センター)	1/6
		課題解決プロジェクト募金の紹介 (静岡いのちの電話)	2/23
		課題解決プロジェクト募金の紹介 (POPOLO)	3/29
伊豆急ケーブル ネットワーク	ニュース	伊豆伊東高等学校生徒への感謝状贈呈 (赤い羽根若者向けプロジェクト)	1/25
計	17件		

■新聞報道(把握分)

新聞名	内容	掲載日
静岡新聞	県社協「中学生を対象とした福祉教育副読本作成」(赤い羽根助成事業)	4/26
	知事報告(4/26訪問)	4/27



新聞名	内容	掲載日
静岡新聞	令和5年台風第2号災義援金の募集開始	6/10
	令和5年6月大雨等災害に係る災害ボランティアセンターへの助成(本会)	6/13
	災害ボランティア活動用機器整備事業の覚書締結(県社協)	6/29
	課題解決プロジェクト募金の紹介(静岡いのちの電話)	7/14
	寄付金贈呈(菰山中学校→伊豆の国市共同募金委員会)	8/1
	赤い羽根ふじのくに夏休みこども食堂支援セット贈呈式(本会)	8/11
	いっぽく会「ひきこもりの子供を持つ親のための学習会」(赤い羽根助成事業)	9/15
	駿河総合高等学校生徒への感謝状贈呈(赤い羽根若者向けプロジェクト)	9/29
	10/1 街頭キャンペーン(本会)	10/2
	保育園による共同募金運動への協力(三島市共同募金委員会)	10/4
	災害ボランティア活動用機器整備事業の覚書締結(伊豆市社協)	11/23
	寄付金贈呈(清水銀行→静岡市共同募金委員会)	12/6
	しずおか言友会「しずおか吃音のつどい」(赤い羽根助成事業)	12/6
	寄付金贈呈(キラリ高等学校→本会)	12/19
	寄付金贈呈(立正佼成会清水教会→静岡市共同募金委員会)	12/22
	書き損じ葉書寄付活動による寄付金贈呈(生活協同組合ユーコープ→本会)	12/24
	寄付金贈呈(清水区シニアクラブ連合会→静岡市共同募金委員会)	1/19
	災害義援金等の寄付窓口での取り扱いに関する説明	1/26
	災害ボランティア活動用機器整備事業の覚書締結(長泉町社協)	1/30
	課題解決プロジェクト募金の紹介(県社協)	3/9
	課題解決プロジェクト募金の紹介(菊川市社協)	3/20
中日新聞	街頭募金(浜松市共同募金委員会)	10/6
岳南朝日新聞	共同募金助成金交付式(富士宮市社協)	6/10
	共同募金運動開始の告知	9/30
	街頭キャンペーン(富士宮市共同募金委員会)	10/3
	街頭募金(富士宮市ボランティア連絡会)	10/18
	社会貢献型自動販売機の設置(トシダ工業株)	11/19
	災害ボランティア活動用機器整備事業の覚書締結(富士宮市社協)	12/24
伊豆日日新聞	寄付金贈呈(菰山中学校→伊豆の国市共同募金委員会)	7/28
	災害ボランティア活動用機器整備事業の覚書締結(伊豆の国市社協)	8/23
	保育園による共同募金運動への協力(三島市共同募金委員会)	10/8
	災害ボランティア活動用機器整備事業の覚書締結(伊豆市社協)	11/21
	寄付金贈呈(三島南高等学校→三島市共同募金委員会)	11/23
伊豆新聞	街頭募金(下田市共同募金委員会)	10/4
	街頭募金(伊東市ボランティア協会)	10/17
	街頭募金(下田市立朝日小学校4年生)	11/7
	歳末たすけあい街頭募金(下田市共同募金委員会)	12/2
	歳末たすけあい寄付金贈呈(下田仏教会→下田市共同募金委員会)	12/8
	歳末たすけあい寄付金贈呈(真如苑・伊東市女性連盟→伊東市共同募金委員会)	12/22
	歳末たすけあい見舞金贈呈(下田市社協→市内8福祉施設)	12/26
	伊豆伊東高等学校生徒への感謝状贈呈(赤い羽根若者向けプロジェクト)	1/27
伊豆毎日新聞	街頭募金(熱海市共同募金委員会)	10/3
	歳末たすけあい寄付金贈呈(梅園町子供会→熱海市市共同募金委員会)	12/25
	寄付金贈呈(熱海市立伊豆山小学校→熱海市共同募金委員会)	1/13
	寄付金贈呈(熱海市立泉小・中学校→熱海市共同募金委員会)	1/27
熱海新聞	街頭募金(熱海市共同募金委員会)	10/4
	寄付金贈呈(熱海市立第一小学校→熱海市共同募金委員会)	12/2
	寄付金贈呈(熱海市立多賀小学校→熱海市共同募金委員会)	12/15
	歳末たすけあい寄付金贈呈(梅園町子供会→熱海市市共同募金委員会)	12/25
	歳末たすけあい図書カード贈呈(熱海市社協→熱海市教育委員会)	12/25
	寄付金贈呈(熱海市立伊豆山小学校→熱海市共同募金委員会)	1/12
	寄付金贈呈(熱海市立第二小学校→熱海市共同募金委員会)	1/19
	寄付金贈呈(熱海市立泉小・中学校→熱海市共同募金委員会)	1/26
日刊焼津港報	焼津市での共同募金の状況紹介	10/4
計	56件	



- ② 中央共同募金会制作の運動啓発用のテレビスポット、ラジオスポットを各放送局(民放テレビ4局・民放ラジオ1局、ケーブルTV11局、コミュニティFM8局、インターネットラジオ1局)に提供し、報道協力を得た。

(4) 地元サッカーチームによる広報協力

① 赤い羽根共同募金運動啓発ポスターへの協力

平成22年度からJリーグの清水エスパルスとジュビロ磐田の協力により、マスコットキャラクター(パルちゃん&ジュビロくん)の写真提供を受け、独自ポスターを制作している。

令和5年度は、「あなたのやさしさが だれかのちからになる」をキャッチコピーに、ポスター12,150枚を制作し、町内会・自治会の掲示板、公共施設や地方銀行(静岡銀行(180枚)、清水銀行(80枚)、スルガ銀行(電子掲示板))などに掲出し啓発を行った。

② 10月1日街頭キャンペーンへの協力

清水エスパルスマスコットキャラクターのパルちゃんが、本会が10月1日(日)に新静岡セノバけやき通り口で開催した赤い羽根共同募金運動街頭キャンペーンに参加し、会場を訪れた県民に赤い羽根共同募金運動の啓発を行った。

③ 赤い羽根共同募金応援メッセージへの協力

ジュビロ磐田と清水エスパルスから赤い羽根共同募金を応援するメッセージが寄せられ、共同募金運動を盛り上げる機運を醸成した。

令和5年度ポスター



《ジュビロ磐田応援メッセージ》

少しの優しさが大切な未来につながる。
ジュビロ磐田と共に赤い羽根共同募金にご参加ください。

《清水エスパルス応援メッセージ》

みんなのチカラでつくる未来
赤い羽根共同募金
ご支援をお待ちしております



(5) 静岡県による広報協力

① 県庁組織

ア 「しずおか県民だより」12月号1面下部のバナー欄において、歳末たすけあい募金の告知を行った。

イ 県庁にのぼり旗(3箇所)を掲出し、募金箱(3個)を設置した。また、県庁西館3階・5階、健康福祉センター(7箇所)にポスターを掲出した。

ウ 県提供のラジオ番組「県庁ニュース ふじのくに!」(K-MIX)で、赤い羽根共同募金運動の実施について周知・協力を呼び掛けた。

エ 県議会本会議場や委員会室等で、9月定例会及び12月定例会の期間中、赤い羽根を着用し、広報啓発に協力した。

② 県議会

県議会議員による赤い羽根の着用について10月4日の県議会代表者会議で決定し、以降、県議会本会議場や委員会室等で、9月定例会の期間中、赤い羽根を着用し、広報啓発に協力した。

(6) 静岡県社会福祉協議会による広報協力

静岡県社会福祉協議会機関紙「社会福祉しずおか“むすぶつなぐ”10月号」に、赤い羽根共同募金運動をテーマとした特集記事が掲載され、「赤い羽根若者向けプロジェクト」の取り組みや、助成事業(各種災害関係助成、地域福祉教育副読本)等が紹介された。(11,300部 県内福祉施設、団体、民生委員児童委員、企業、県内小中高等学校等に配付)



(7) 赤い羽根若者向けプロジェクト～芸術系高等学校による広報協力（3年目）

次代を担う若者に、赤い羽根共同募金運動を通じて福祉に関心をもってもらい、若者自らが「じぶんの町を良くするため」に、学校で学んだスキルを活かして共同募金運動に協力してもらうことを目的として、「赤い羽根若者向けプロジェクト」を実施した。

- ① 県立駿河総合高等学校総合学科ビジュアルデザイン選択の2年生49名が令和4年度中にデザイン制作を行い、うち5作品を令和5年度の広報用資材に使用した。このうち、「若者向け壁新聞」は4月に県内の全中学校・高等学校へ配付し、「全県版チラシ」、「法人開拓用チラシ」、「市町版各戸配布用チラシ」、「ボランティア活動の手引き」は8月以降の周知活動等で使用した。



令和5年度若者向け壁新聞（駿河総合高等学校）

- ② 令和5年度は県立伊豆伊東高等学校アートコースの3年生16名がデザイン制作に取り組み、うち5作品を選定した。選定した作品は、令和6年度の広報用資材に使用することとしている。

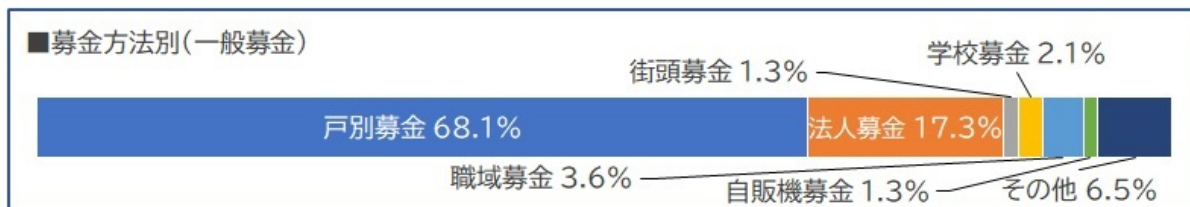
6 寄付依頼活動(募金活動)

(1) 赤い羽根共同募金(令和5年10月1日～令和6年3月31日の6カ月間)

社会福祉協議会や広域活動団体が行う地域福祉活動支援事業、社会福祉施設の機器整備、こども食堂誕生日会・福産品応援事業などに対する助成を行うため、各市町の区域ごとに戸別、法人、学校募金等の募金活動を実施した。

また、参加団体が福祉課題の解決を呼び掛ける課題解決プロジェクト募金(使いみちを選べる募金)、ネット募金、社会貢献型自動販売機の設置、寄付つき商品(募金百貨店)の提案、寄付物品の受け入れなどの新しい募金手法にも挑戦した。

区分	目標額 (円)	実績額 (円)	達成率 (%)	前年度比較	
				増減額(円)	比率(%)
一般募金	347,398,000	298,673,057	86.0	▲15,318,299	95.2
(うち課題解決 プロジェクト募金)	(4,380,000)	(4,111,983)	(93.9)	(▲3,635,827)	(53.1)



■募金方法別の分析

募金方法	対 応	募金額 前年比	内 容
戸別募金	・全世帯へ協力依頼チラシの配布回覧 ・積極的な広報によりマスコミでの露出度を高める	98.4%	自治会・町内会の協力により、前年並となった
法人募金	・対面や振り込みによる寄付の推奨 ・商工会議所等の経済団体に直接協力依頼	86.0%	振込募金等で苦戦し、法人からの協力が減少した
街頭募金	・対面での募金活動を本格的に復活 ・駅、スーパー、繁華街等で運動を実施	146.0%	実施した組織・団体が増え、募金実績も大幅に増加した
学校募金	・教育委員会、高等学校長協会の会議で協力依頼 ・学校募金ハンドブックの活用依頼	95.9%	生徒会中心の堅実な運動等により、ほぼ前年並となった
職域募金	・共同募金の必要性を丁寧に説明	98.9%	各職域への丁寧な説明などにより、前年並となった

① 一般募金(令和5年10月1日～12月31日)

戸別募金、法人募金、学校募金、職域募金などによる円滑な募金活動を推進するため、募金推進団体開催の会合等に出向き、募金活動への積極的な協力を依頼した。



ア 知事への報告及び協力依頼

令和4年度の募金・助成活動の報告、10月1日からの令和5年度の運動への協力依頼を行った。

月日	内容	出席者
令和5年4月26日(水)	令和4年度の募金・助成活動の報告等	会長、常務理事他

イ 戸別募金増強に向けて 一自治会連合会へお礼と協力依頼一

月日	主催	会議名
令和5年6月30日(金) 令和6年3月1日(金)	静岡県自治会連合会	理事会

ウ 法人募金増強に向けて 一各団体へお礼と協力依頼一

■静岡県、政令市民生委員児童委員協議会

月日	主催	会議名
令和5年5月17日(水) 令和6年3月19日(火)	静岡県民生委員児童委員協議会	理事会
令和5年5月19日(金)	静岡市民生委員児童委員協議会	理事会
令和5年6月6日(火)	静岡県民生委員児童委員協議会	総会
令和5年6月19日(月)	浜松市民生委員児童委員協議会	評議員会
令和5年9月11日(月)	静岡県民生委員児童委員協議会	法定地区会長研修会

■経済・産業関係団体

月日	主催	会議名
令和5年8月2日(水)	静岡県商工会連合会	訪問依頼※1
令和5年8月4日(金)	(一社)静岡県商工会議所連合会	専務理事・事務局長会議※2
令和5年10月13日(金)	(一社)静岡県医師会	訪問依頼※3
令和5年10月13日(金)	静岡県中小企業団体中央会	訪問依頼※4
令和5年10月26日(木)	(一社)静岡県建設業協会	理事会※5

※1 静岡県商工会連合会会長及び商工会会長の連名による「共同募金協力に係る挨拶状」を活用し、市町共同募金委員会が当該商工会の会員に対し、社会貢献メニューとしての共同募金への協力を呼びかけた。

※2 静岡県商工会議所連合会会長及び商工会議所会頭の自署による「共同募金協力に係る挨拶状」を県内商工会議所が発行する会報誌に同封(一部印刷)して、会員に対して社会貢献メニューとしての共同募金への協力を呼びかけた。

※3 静岡県共同募金会会長の自署による「赤い羽根共同募金のご協力のお願い」を静岡県医師会が発行する会報誌に掲載して、会員に対して社会貢献メニューとしての共同募金への協力を呼びかけた。

※4 静岡県中小企業団体中央会に「赤い羽根共同募金のご協力のお願い」のホームページへの掲載や会員に対しての共同募金への協力を依頼した。また、職域募金の協力を呼びかけた。

※5 静岡県建設業協会の協力により、会員企業に対して社屋・建設工事現場等への「社会貢献型自動販売機」の設置を呼びかけた。また、静岡県建設業協会のホームページに、本会からの寄付依頼、「社会貢献型自動販売機」設置協力依頼、法人開拓用チラシを掲載した。

■金融機関

月日	対象	内容
令和5年8月30日(水)	県内地方銀行3行	・職域募金 ・手数料免除 ・社会貢献型自動販売機設置依頼 ・プレミアム赤い羽根バッジ購入依頼
令和5年9月26日(火)	県民共済生活協同組合	・職域募金 ・プレミアム赤い羽根バッジ購入依頼

エ 企業団体等への募金の依頼

■募金箱の設置推進と募金実績(募金箱・職域募金、自動販売機を含む)

依頼先	件数	設置期間	寄付金額(円)	備考
国の出先機関	112	10月~3月	51,394	
静岡県庁	900	10月~3月	825,637	一般募金 609,359円



依 頼 先	件数	設置期間	寄付金額(円)	備考
				NHK歳末 216,278円
(株)サンコートラベル	1	年間	82	
静岡県教育会館	1	年間	9,433	
ふじのくに健康福祉キャンペーン構成団体	90	10月～3月	75,205	
静岡県内の郵便局	347	10月～2月	304,590	
(公財)静岡市まちづくり公社	1	年間	9,073	
(株)エスパルス(S-PULSE STORE 他)	1	10月～12月	1,327	
	10	年間	80,618	
真如苑(静岡精舎、浜松支部)	2	10月～12月	208,439	
富士山静岡空港 受付カウンター	1	年間	5,174	
全日本空輸(株)静岡空港所	1	10月～1月	—	
(株)静岡銀行	125	10月～11月	335,165	
	149	年間	831,866	
(株)しずおかフィナンシャルグループ各社	93	10月～11月	450,841	
(株)静岡鉄道(静鉄ホテルプレジオ)	3	年間	11,135	
	1	年間	1,550	
静岡県中小企業団体中央会	1	10月～12月	6,786	
(一社)静岡県医師会	1	10月～12月	10,000	
明光会 Trois～トロワ～	1	年間	546	
静岡県労働金庫	1	10月～1月	—	
	1	年間	1,775	
(株)エンチョー	59	10月～12月	160,989	県内 121,923円 県外 39,066円
(株)オークワ	2	10月～12月	67,136	
(株)静鉄ストア	31	10月～12月	106,166	
(株)遠鉄ストア	34	10月～12月	100,000	
(株)ヒバリヤ	6	10月～12月	9,150	
(株)タカラ・エムシー(フードマーケット マム)	36	10月～12月	150,822	
(株)ユーマート	8	年間	65,389	
生活協同組合ユーコープ	18	12月	3,012,015	社会的養護のこどもへ 3,012,015 円
沓間水産(株)(沼津魚がし鮓)	20	年間	12,680	
静岡県麺類業生活衛生同業組合	12	10月～12月	—	
静岡県社交飲食業生活衛生同業組合	16	10月～12月	—	
静岡県飲食業生活衛生同業組合	1	10月～12月	11,776	
静岡県鮎商生活衛生同業組合	22	10月～12月	10,157	
静岡県料理業商生活衛生同業組合	1	10月～12月	—	
静岡県理容生活衛生同業組合	27	10月～12月	16,500	
静岡県美容業生活衛生同業組合	4	10月～12月	—	
静岡県ホテル旅館生活衛生同業組合	1	10月～12月	—	
静岡県書店商業組合	12	年間	9,822	
(株)戸田書店	6	年間	26,332	
(株)谷島屋	18	年間	27,453	
(株)江崎書店	3	年間	—	
MARUZEN&ジュンク堂	1	年間	—	
計(40)	2,181		7,007,023	
前年度(43)	2,272		7,423,706	

※二段書き:上段は募金箱・職域募金、下段は自動販売機

オ 組立式募金箱、職域募金箱、街頭肩掛募金箱など5種類の募金箱55,254個(前年度 57,661 個)を、市町共同募金委員会を通じて無償で配布し、自発的寄付の環境を整えた。

カ 学校募金への取り組み依頼

学校募金ハンドブック2,326冊及び若者向け壁新聞1,639枚を県内の小学校(壁新聞なし)・中学校・高等学校に配付し、教育活動の一環としての共同募金運動に取り組むよう依頼した。



月日	主催	対象
令和5年4月10日(月)	静岡市教育委員会	静岡市校長会(理事会)
令和5年5月30日(火)	静岡県高等学校長協会	理事会
令和5年7月20日(木)	静岡県私学協会	会員校理事長・校長会
学校募金ハンドブックの配付 を依頼	静岡市教育委員会	市立小、中学校長
	浜松市教育委員会	市立小、中学校長
	静岡県教育委員会	市町教育委員長・教育長(政令市含む)
		公立小、中学校長(政令市除く)
		公立高等学校、特別支援学校長(市立高含む)

② 課題解決プロジェクト募金(令和6年1月1日～3月31日)(平成25年度から11回目)

課題解決プロジェクト募金は、地域の福祉課題をテーマに持つ団体が、共同募金会と協働して、課題を解決する必要性を広くアピールしながら、自ら募金の協力を呼び掛けるもので、寄付者にとっては「使いみちを選択できる」新たな募金の仕組みである。

テーマに寄せられた寄付金は、共同募金会から当該団体の支援活動に全額助成(事務経費:本会経費2%、クレジットカード手数料3%を除く)され、課題解決へとつながる財源として活用された。

No	団体名	テーマ	目標額 (円)	寄付 件数	実績額 (円)	助成額 (円)
1	社会福祉法人 菊川市社会福祉協議会	あなたが支える移動支 援サービス事業	511,000	106	466,560	456,359
2	特定非営利活動法人 POPOLO	静岡 POPOLO ハウス 事業	270,000	18	113,045	110,785
3	特定非営利活動法人 てくてく	生きづらさを抱えた若者 の居場所づくり事業	307,000	17	128,600	126,028
4	特定非営利活動法人 サンフォレスト	ひきこもり支援・相談スタ ッフ初級養成講座開催事業	200,000	26	132,000	129,240
5	社会福祉法人 静岡いのちの電話	「一人で悩まないで話してみ ませんか」ポスター作製事業	154,000	30	174,000	170,490
6	社会福祉法人 浜松いのちの電話	若者こころの支援事業	298,000	29	234,000	227,790
7	社会福祉法人 静岡県社会福祉協議会	児童養護施設等退所児 童への就学等支援事業	1,021,000	41	1,912,244	1,871,973
8	特定非営利活動法人 湖西なろうっパスクール	次代を担う自立した心豊か な青少年を育成する事業	460,000	97	299,000	292,540
9	特定非営利活動法人 静岡県補助犬支援センター	身体障害者補助犬育成 事業	597,000	97	353,834	346,488
10	特定非営利活動法人 静岡県ボランティア協会	若者と学ぶ共生社会づ くり事業	562,000	36	298,700	292,546
計 (10)			4,380,000	497	4,111,983	4,024,239
前年度(11)			5,452,000	687	7,747,810	7,584,493

(詳細は別冊統計資料 29ページ)

(2) 地域歳末たすけあい募金(令和5年12月1日から12月31日までの1カ月間)

市町社会福祉協議会が実施する地域歳末支援事業のため各市町の区域ごとに戸別、法人募金等の募金活動を実施した。

区分	目標額(円)	実績額(円)	達成率 (%)	前年度比較	
				増減額(円)	比率(%)
地域歳末たすけあい募金	179,050,000	174,032,799	97.2	▲2,487,421	98.6



(3) NHK歳末たすけあい(令和5年12月1日から12月25日までの25日間)

日本放送協会、中央共同募金会、NHK厚生文化事業団が、生活困窮者等の年末年始支援、児童養護施設等利用者の就職等自立支援を行うために73回目の募金活動を行った。

- ① 日本放送協会静岡放送局は、テレビ番組やラジオ放送の中で募金活動と呼び掛けるとともに、静岡放送局に募金受付窓口を設けた。
- ② 中央共同募金会を通じて寄付経験者に寄付依頼のダイレクトメールを発送した。
- ③ 運動初日に、静岡精華幼稚園等の協力を得て、静岡放送局、日本赤十字社静岡県支部(NHK海外たすけあい)とともに募金受付窓口オープニングセレモニーを行った。



(オープニングセレモニーの様子)

区分	目標額 (円)	実績額 (円)	達成率 (%)	前年度比較	
				増減額(円)	比率(%)
NHK歳末たすけあい	18,552,000	14,639,088	79.0	▲2,848,078	83.8

■受付状況

受付窓口	件数	寄付額(円)	内 訳		
			取り扱い	件数	寄付額(円)
中央共同募金会	787	10,294,835	県下各郵便局、信用金庫ほか		
日本放送協会静岡放送局	58	619,389			
静岡県共同募金会	169	3,724,864	地方銀行3行扱い	19	411,991
			農協扱い	14	69,580
			漁協扱い	1	5,000
			事務局扱い 他	135	3,238,293
県内窓口	227	4,344,253			
計	1,014	14,639,088			
前年度	1,300	17,487,166			

7 新しい募金手法による寄付の受入(年間を通した寄付)

(1) 社会貢献型自動販売機による寄付

売り上げの一部が共同募金に寄付される清涼飲料水自動販売機の設置を推進した。(50音順)

飲料会社・業者	設置台数	寄付額(円)
アサヒ飲料(株)	3	25,165
アシード(株)静岡営業所	1	12,467
(株)アベックス	2	47,431
(株)伊藤園	40	654,377
(株)エムシーフードサービス	1	42,000
(株)エル・アイ・ビバレッジ	1	8,150
コカ・コーラ ボトラーズジャパン(株)	58	282,118
サントリービバレッジソリューション(株)	48	221,010
サントリーフーズ(株)	1	19,082
(株)葉堂	1	1,289
静岡塩業(株)	10	14,883
ダイードリンコ(株)	165	1,333,080
中央静岡ヤクルト販売(株)	5	19,804
東海ビバレッジサービス(株)	77	598,783
ナショナル・ベンディング(株)	6	23,925
西静岡ヤクルト販売(株)	1	8,713
(特非)ハートフル福祉募金	14	346,309
(株)富士テレネット	16	5,860
ポッカサッポロフード&ビバレッジ(株)	5	16,162



飲料会社・業者	設置台数	寄付額(円)
ユニヴァーサル商事(株)	23	137,609
その他	10	13,063
計	488	3,831,280
前年度	499	3,750,890

※設置台数は、令和6年3月31日現在(設置先別台数一覧は別冊統計資料 13ページ)

(2) 物品による寄付

地元企業等の周年記念祝いの胡蝶蘭、社会貢献活動としての食品、買い替え等で過剰となった利用可能な備品などの物品を、共同募金に寄付として積極的に受け入れ、その物品を社会福祉施設等に助成するとともに、物品の評価額を寄付金として扱い、社会福祉事業等へ貢献する新しい募金手法として、企業の社会貢献活動の促進につなげた。

募金種別	寄付者	寄付物品	数量	寄付額(円)
一般募金	はごろもフーズ(株)代表取締役会長	鉢植(胡蝶蘭)	39	1,170,000
	(一財)静岡県銀行協会	備品(事務機器他)	262	403,354
	(一社)静岡缶詰協会	食品(缶詰他)	11,244	1,448,702
	(公社)静岡県農業振興公社	備品(事務機器)	67	192,731
	(一社)静岡県労働者福祉協議会	備品(事務機器)	1	55,000
	(株)しずおかフィナンシャルグループ	鉢植(胡蝶蘭)	64	1,920,000
	(税)静岡みらい	備品(オフィスチェア/バック)	1	4,000
	(株)四葉商会	備品(事務機器)	83	296,360
	(一社)静岡県農業会議	備品(事務機器)	8	106,041
計		9件	11,769	5,596,188
前年度		14件	13,724	8,313,664

(助成一覧は別冊統計資料 25～28ページ)

(3) 寄付つき商品による寄付

① 募金百貨店プロジェクト

募金百貨店は“赤い羽根”共同募金会が行う寄付つき商品を扱う仮想の百貨店である。募金百貨店への登録企業が企画・販売する“寄付つき商品”の売り上げの一部が赤い羽根共同募金に寄付され、県内の福祉活動の支援に役立てられる。

登録企業、購入者にとっては、地域社会に貢献するしくみとなるので、積極的に企業に提案している。

■令和5年度登録商品

	第1号
登録企業	(株)ジュビロ
登録商品	実店舗及びオンライン店舗で販売する全商品
寄付割合	売上金の一部を寄付
寄付金額	85,358円
寄付先	一般募金
販売期間	令和5年10月1日～10月31日
販売場所	ジュビロショップ磐田、ジュビロショップサンプラザ浜松、ジュビロ e-shop



② プレミアム赤い羽根バッジによる寄付

共同募金のシンボルである「赤い羽根」に親しみを持っていただくとともに、共同募金運動の認知度を高めるために、平成29年度から寄付つき商品として「プレミアム赤い羽根バッジ」を取り扱い、着用を推進した。

【頒布価格】1,000円 【購入元】中央共同募金会

窓口	個数	寄付額 (円)	備考
本会(ゆうちょ銀行払込等)	205	97,580	・寄付額476円×205個
静岡県庁(県職域募金)	37	17,612	・寄付額476円×37個
静岡県庁東館 2 階 喫茶びあ～	29	13,804	(福)明光會による窓口取扱 業務の協力 ・寄付額476円×29個
計	271	128,996	
前年度	384	182,784	



(プレミアム赤い羽根バッジ)

③ その他の寄付つき商品による寄付 【頒布価格】1,000円 【購入元】中央共同募金会

寄付つき商品	枚数	寄付額(円)	備考
赤い羽根クオカード	2,715	1,042,560	寄付額384円×2,715枚
赤い羽根図書カード NEXT	1,545	616,455	寄付額399円×1,545枚
計	4,260	1,659,015	
前年度	4,260	1,657,380	



(図書カード NEXT)

(4) ネット募金

中央共同募金会のオンライン寄付サイトからクレジットカードによりネット募金が簡単に行えるように、本会ホームページの入力画面の簡素化を図った。

また、中央共同募金では、企業が作るオンライン寄付サイトから、様々な方法(クレジットカード、ポイント等)で寄付できる仕組みづくりに取り組んだ。

募金種別	ネット募金の種類		件数	寄付額(円)
一般募金	中央共募オンライン寄付サイト	ふるさとサポート募金 (クレジットカード)	114	714,800
地域歳末 たすけあい募金	Yahoo!	Yahoo! ネット募金 (クレジットカード)	1	14,778
計			115	729,578
前年度			131	1,177,026

(5) 中央共同募金会受付の寄付(静岡県分)

全国の法人から中央共同募金会に寄せられた募金実績

寄 付 者	件数	寄付額(円)
(株)マルハン ユニオン	1	438,897
(有)荒川ワークス	1	635,000
東京海上日動火災保険(株)	1	750,527
(一財)篠原欣子記念財団	1	200,000
その他	—	583,618
計	4	2,608,042
前年度	35	8,155,033



第2 助成活動

年度当初に受け付けた施設・団体等(社会福祉協議会を含む)からの助成申請については、1月から2月にかけて配分委員会委員による実地調査を実施した上で助成案を策定し、配分委員会での承認を経て、3月13日の理事会において、次のとおり決定し助成した。(令和6年5月17日公告)

助成に当たっては、次の募金につなげるため、助成先に対して「感謝の気持ちの伝達」の徹底に努めた。

1 共同募金による助成

(1) 令和5年度共同募金による助成

令和5年度共同募金運動による寄付金等を財源に次の助成(5年度及び6年度実施事業)を行った。

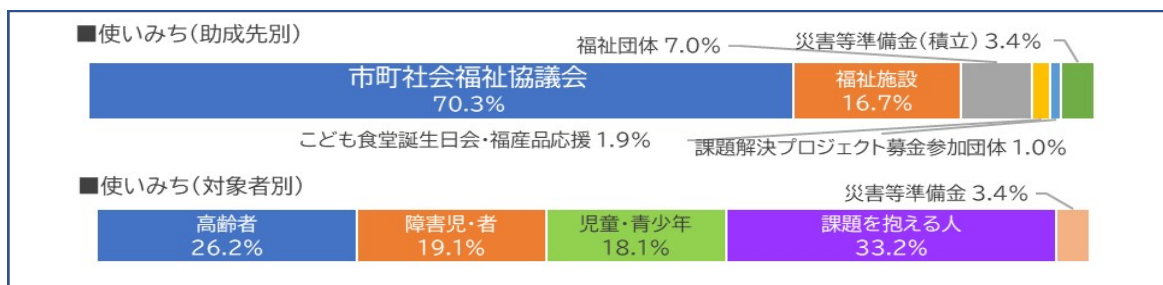
(単位:円)

区分	助成種別		助成先	件数	5年度実施 事業助成額	6年度実施 事業助成額	計
一般 募金	地域 助 成	地域福祉活動支援事業	市町社会福祉協議会	35	0	132,826,843	132,826,843
		小計		35	0	132,826,843	132,826,843
	広 域 助 成 枠	地域福祉活動支援事業	市町社会福祉協議会 (機器整備)	1	0	222,000	222,000
			広域福祉活動団体	16	0	28,368,000	28,368,000
		福祉施設機器整備事業	社会福祉施設	38	0	47,249,000	47,249,000
		こども食堂誕生日会・福 産品応援事業	障害者就労支援団体	2	0	8,000,000	8,000,000
		地域共生社会づくりモ デル事業	市町社会福祉協議会	1	0	300,000	300,000
		災害等準備金	(積立)	—	0	14,420,000	14,420,000
		物品寄付ほか	社会福祉施設・団体	70	5,596,188	0	5,596,188
		小計		128	5,596,188	98,559,000	104,155,188
	課題解決プロジェクト募金		参加団体	10	0	4,024,239	4,024,239
	計			173	5,596,188	235,410,082	241,006,270
地域歳末 たすけあ い募金	地域歳末たすけあい事業	市町社会福祉協議会	34	137,406,515	0	137,406,515	
	地域福祉活動支援事業 (翌年度分)	市町社会福祉協議会	(34)	0	31,331,929	31,331,929	
	計		34	137,406,515	31,331,929	168,738,444	
NHK 歳末 たすけ あい	年未年始支援活動助成		福祉活動団体	20	1,650,000		1,650,000
	年未年始施設利用者支援助 成		児童福祉施設、 更生施設他	49	13,323,000		13,323,000
	就職等自立支援助成		児童養護施設協議 会、里親連合会	2	0	5,331,000	5,331,000
	計			71	14,973,000	5,331,000	20,304,000
合計				278	157,975,703	272,073,011	430,048,714
前年度				323	158,945,516	285,597,748	444,543,264

【助成財源】

①令和5年度共同募金 ②災害等準備金取崩金(令和元年度積立分)312,296円

()書きは市町社会福祉協議会の地域福祉活動支援事業、地域歳末たすけあい事業との重複件数



(詳細は別冊統計資料 14～36ページ)



2 緊急等助成資金による助成

平成27年度末に繰越金が多額になったため、所轄庁(当時は静岡県)の指導により、目的を明確にした基金として積み立て、計画的に助成に充てることとし、従前からあった積立金「緊急助成資金」に、繰越金のうち1億2000万円を積み増して、名称も「緊急等助成資金」に改めた。

令和5年度は、緊急等助成資金規程に基づき、緊急等助成資金を取り崩して、次の助成を行った。

■緊急等助成資金の状況

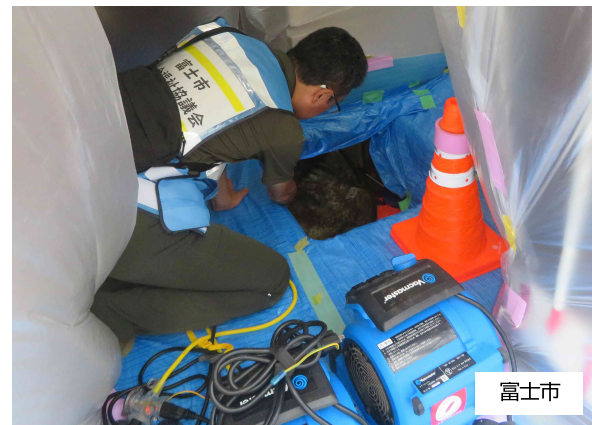
(単位:円)

前年度末 残 高	当年度取崩額	当年度積立額 (戻入額を含む)	当年度末 残 高
128,201,433	13,704,408	0	114,497,025

※当資金の適正規模は1億円程度と想定

(1) 災害ボランティアセンター設置・運営費助成(令和5年6月2日からの大雨等災害)

助成先	対象経費	件数	助成額(円)
沼津市社会福祉協議会 富士市社会福祉協議会 浜松市社会福祉協議会	災害ボランティアセンター運営費 (車両・活動用資材等借上料、事務 機器等借上料、活動用資材購入費、 光熱水費・電話等通信費 ほか)	3件	6,798,580
前年度		2件	3,400,516



(2) 災害見舞金

令和5年6月2日からの大雨等災害の被災者に対して、災害等緊急助成実施要領第2条第2項(1)及び災害見舞金贈呈要領に基づき、11世帯に55,000円の災害見舞金を贈呈した。

①浜松市社会福祉協議会

福祉票登録区分	世帯数	被害状況	見舞金額(円)
ひとり暮らし高齢者	5世帯	床上浸水	30,000
	1世帯	半壊	
高齢者のみ	4世帯	床上浸水	20,000
精神障害者	1世帯	半壊	5,000
計	11世帯		55,000

(3) “赤い羽根”災害ボランティア活動用機器整備事業

助成先	事業内容	件数	助成額(円)
島田市社会福祉協議会 ほか	災害活動用機器 収納庫	12件	6,850,828
前年度		16件	8,886,786

(助成一覧は別冊統計資料 34～35ページ)



3 “赤い羽根”ふじのくに夏休み子ども食堂支援セット助成事業

一般社団法人静岡缶詰協会及び正会員17社と協力団体から、本会に食品等(缶詰・飲料等)の寄付があり、「学校給食の無い夏休みの子どもたちを支援したい」という意向を受け、「“赤い羽根”夏休み子ども食堂支援セット助成事業実施要領」に基づき応募があった子ども食堂を通じて、こどもの食支援助成を行った。なお、この事業は令和3年度、令和4年度に続き、今回が3回目である。

(1) 寄付の状況

寄付の種類	寄付者《寄付内容》	寄付額
食 品 寄 付	(一社)静岡缶詰協会 正会員17社 《缶詰・デザート・飲料等11,244個(465ケース)》	1,267,252円
借上料寄付	(一社)静岡缶詰協会《物流倉庫借用料》	55,000円
配送費寄付 (※)	静岡キワニスクラブ《物流倉庫から社協への食品配送料》	100,000円
	カンナの会《物流倉庫から社協への食品配送料》	100,000円
合 計		1,522,252円

(2) 助成先

子ども食堂	24か所(10市町)
対 象 者 数	約 1,000名(主に小・中学生)
引 渡 し 日	令和5年8月10日(木) (※「あい愛カフェ」(島田市)のみ贈呈式の8/9)
引渡し方法	子ども食堂所在地の市町社協に送られた食品を、子ども食堂の担当者が指定日に市町社協へ直接受け取りに行く方法

(助成一覧は別冊統計資料 25～26ページ)

(3) 贈呈式

実 施 日	令和5年8月9日(水)
会 場	静岡県総合社会福祉会館 (1階 101会議室)
内 容	・(一社)静岡缶詰協会、静岡キワニスクラブから、本会及び子ども食堂代表の「あい愛カフェ」に対して目録を贈呈(カンナの会は欠席) ・本会から(一社)静岡缶詰協会、静岡キワニスクラブに感謝状を贈呈(カンナの会へは後日送付)



《参考》令和3、4年度の内容

	令和3年度	令和4年度
食 品 寄 付	(一社)静岡缶詰協会 正会員17社 《缶詰・レトルトパウチ・飲料等18,192個 (420ケース) 2,348,984円》	(一社)静岡缶詰協会 正会員17社 《缶詰・デザート・飲料等11,716個 (455ケース) 1,160,839円》
配送費寄付 (※)	静岡キワニスクラブ 《100,000円》 カンナの会 《100,000円》	静岡キワニスクラブ 《100,000円》 カンナの会 《100,000円》
助 成 先	子ども食堂:34か所(12市町)	子ども食堂:24か所(13市町)
対 象 者 数	約 1,000名(主に小・中学生)	約 1,000名(主に小・中学生)
引 渡 し 日	令和3年8月11日(水) (贈呈式分除く)	令和4年8月10日(水)～18日(木) (贈呈式分除く)
贈 呈 式	実施日:令和3年8月6日(金) 会 場:静岡県総合社会福祉会館 5階 集会室 出席者:(一社)静岡缶詰協会、静岡キワニスクラブ、しずおかキッズカフェ(子ども食堂代表) 内 容:令和5年度に同じ	実施日:令和4年8月9日(火) 会 場:静岡市民文化会館 2階 第一会議室 出席者:(一社)静岡缶詰協会、静岡キワニスクラブ、カンナの会、ひだまりはうす(子ども食堂代表) 内 容:令和5年度に同じ

※配送費寄付については各年度とも200,000円の寄付を受けているが、物品寄付の統計数値には、実際に要した物流センターから社協等への送料を食品寄付額に加えて計上している。



4 助成効果の測定と実地監査の実施

助成先から助成事業完了後に「使途実施報告書・交付請求書」の提出を受け、書面により、助成効果の測定と実施状況の監査を行った。

(1) 市町社会福祉協議会による地域福祉活動

市町社会福祉協議会(抽出で7市町)について、配分委員会委員が実地調査で事務局を直接訪問し、助成事業の実施状況を調査した結果、以下の指導を行った社協はあるものの、概ね妥当な状況であった。

- ① 市町への助成は、「使途が見えない」との批判があることから、助成に当たっては、支援対象者への直接支援など助成事業にふさわしい内容とするよう指導した。
- ② 赤い羽根共同募金と社会福祉協議会は地域福祉における車の両輪にも例えられることから、地域福祉活動計画の中に赤い羽根共同募金に関する記述を明記するよう指導した。
- ③ 二次助成を公募で行う場合には、社協事務局等の内部での選定ではなく、第三者委員会など外部の委員による選定委員会を設置し、選定の過程に透明性や公平性の確保を図るよう指導した。

実地調査対象社協	富士宮市、焼津市、御前崎市、菊川市、磐田市、浜松市、長泉町
----------	-------------------------------

(2) 福祉施設機器整備(修繕含む)

- ① 備品・車両等の更新又は整備は、対象者に対する福祉サービスの向上につながるもので、概ね申請の目的が達成されていた。
- ② 経年劣化等による施設設備整備は、設置者において年次計画を立てて実施するものであり、助成に当たっては当該経営主体の財政状況を勘案する必要がある。
- ③ 高額助成案件(200万円以上)については、事務局職員による実地監査を行ったが、概ね適正に実施されていた。

■実地監査実施状況(助成額200万円以上)

助成年度	事業実施年度	助成区分	件数	助成金額(千円)	指摘・指導事項
令和3年度	令和4年度	福祉施設機器整備	1	2,325	(なし)

(3) 広域活動団体による地域福祉活動

福祉サービスを必要とする支援対象者に対して、相談活動や孤立防止活動など、多様な支援効果が見られた。



第3 その他の活動

1 災害等準備金の状況

社会福祉法第118条に基づき、本県の災害ボランティア活動等(災害救助法が適用された災害が対象)を支援するため募金総額の3%を3年間積み立てている災害等準備金の状況は次のとおりである。

(1) 令和5年度の準備金状況(取崩・積立) (単位:円)

前年度末 残 高	当年度取崩額 (助成額、拠出額を含む)	当年度積立額 (戻入額を含む)	当年度末 残 高
45,312,296	12,328,296	14,420,000	47,404,000
【内訳】 R1積立 312,296 円 R2積立 15,020千円 R3積立 15,100千円 R4積立 14,880千円	【内訳】 ・R2積立分のうち、 ①令和4年台風第15号災害で静岡県社会福祉協議会へ追加助成 1,223,200円 ②令和5年6月2日からの大雨等災害で磐田市及び県社会福祉協議会へ助成 664,084円 ③令和6年能登半島地震拠出分 10,128,716円 ・R1 積立分の取崩 312,296 円	【内訳】 ・ R5積立分 R5募金総額の 3% 14,420,000 円	【内訳】 R2積立 3,004千円 R3積立 15,100千円 R4積立 14,880千円 R5積立 14,420千円

(2) 災害等準備金のうち令和2年度積立分から下記のとおり助成及び拠出を行った。

助成・拠出先	助成・拠出額(円)	用途等	助成決定日	備考
【助成】 静岡市社会福祉協議会 (令和4年台風第15号災害・追加)	1,223,200	災害ボランティアセンター運営費助成(※)	令和5年5月16日	R2積立 15,020,000円 (助成 1,887,284円 拠出 10,128,716円) 残額 3,004,000円
【助成】 磐田市社会福祉協議会 (令和5年6月2日からの大雨等災害)	181,603		令和5年6月7日	
【助成】 静岡県社会福祉協議会 (令和5年6月2日からの大雨等災害)	482,481		令和5年6月9日	
【拠出】 石川県共同募金会 (令和6年能登半島地震災害)	10,128,716	中央共同募金会 経由で拠出	令和6年3月13日 (第306回理事会) 公告日(官報): 令和6年3月29日	
計	12,016,000			

※:車両・活動用資材等借上料、事務機器等借上料、活動用資材購入費、光熱水費・電話等通信費 ほか





(3) 災害等準備金のうち積立後3年が経過した令和元年度積立分312,296円は取崩し、令和5年度助成財源とした。

(4) 年度末には、令和5年度分として14,420,000円を新たに積み立てた。

2 災害義援金の状況

(1) 静岡県の災害義援金

令和5年6月2日からの大雨や台風第2号の影響により、県内各地で浸水被害・土砂災害が発生し、磐田市には災害救助法が適用された。

これを受けて静岡県共同募金会では、静岡県及び日本赤十字社静岡県支部と調整の上、この災害により静岡県で被災された方々を支援することを目的に義援金を募集した。義援金は県から市町を通じて令和5年12月末をもって被災者への配分を完了した。(中央共同募金会からの業務支援資金 30,620円)

① 概要

名 称	令和5年台風第2号災害静岡県義援金
受 付 期 間	令和5年6月8日(木)～令和5年9月8日(金)
受付実施団体	静岡県、社会福祉法人静岡県共同募金会及び日本赤十字社静岡県支部
受 付 方 法	指定金融口座への振込又は各機関(静岡県を除く)の窓口 (※義援金のみを受け入れとし、救援物資・物品は受け入れしない)

② 受付状況

受付実施団体	受付金額	受付件数
静岡県	10,221,878円	54件
(福)静岡県共同募金会	8,026,317円	234件
日本赤十字社静岡県支部	9,422,512円	160件
合 計	27,670,707円	448件

③ 配分状況

上記受付金額27,670,707円について、以下のとおり配分を決定した。

ア 令和5年台風第2号災害静岡県義援金募集・配分委員会の概要

開催回数 及び 配分金額	第1回 令和5年6月8日開催(書面審議)	—
	第2回 令和5年8月8日開催	決定配分金額: 4,887,000円
	第3回 令和5年10月18日開催	決定配分金額: 15,986,000円
	第4回 令和5年12月 27日開催(書面審議)	決定配分金額: 6,797,707円
配分方法	公平・適切な配分のため委員会で配分基準等を定め、市町を通じて配分する。	
委員会の 構成団体	静岡県市長会町村会総合事務局、(福)静岡県社会福祉協議会、 (福)静岡県共同募金会、日本赤十字社静岡県支部、日本放送協会静岡放送局、 (公財)静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団、静岡県	

イ 配分結果(15市町)

○被災区分及び配分単価

被災区分	配分 対象数 (人・世帯) 計 463	配分単価(円)			
		第1回	第2回	第3回	合計
死者	2	113,000	399,000	158,760	670,760
軽傷者	1	2,000	9,000	3,969	14,969
全壊	2	113,000	399,000	158,760	670,760
中規模半壊	3	70,000	249,000	99,224	418,224
半壊	10	56,000	199,000	79,378	334,378
準半壊	21	28,000	99,000	39,685	166,685
準半壊に至らない(一部損壊)	43	11,000	39,000	15,876	65,876
床上浸水	172	11,000	39,000	15,876	65,876
床下浸水	209	—	9,000	3,969	12,969



○市町別配分額

対象市町	配分 対象数 (人・世帯)	第1回配分額(円)	第2回配分額(円)	第3回配分額(円)	配分総額(円)
静岡市	18	166,000	643,000	274,921	1,083,921
浜松市	98	1,993,000	3,914,000	1,889,178	7,796,178
沼津市	204	1,392,000	5,719,000	2,354,674	9,465,674
三島市	2	22,000	78,000	31,752	131,752
伊東市	2	124,000	438,000	174,636	736,636
島田市	3	28,000	245,000	87,316	360,316
富士市	76	306,000	1,682,000	655,633	2,643,633
磐田市	30	653,000	2,243,000	911,793	3,807,793
御殿場市	2	22,000	78,000	31,752	131,752
袋井市	16	11,000	165,000	84,411	260,411
裾野市	5	22,000	228,000	79,380	329,380
湖西市	3	78,000	277,000	111,130	466,130
函南町	1	70,000	249,000	99,224	418,224
長泉町	1	0	9,000	3,969	12,969
森町	2	0	18,000	7,938	25,938
合計	463	4,887,000	15,986,000	6,797,707	27,670,707

(2) 全国の義援金募集要綱を市町社会福祉協議会に周知した。 23件

(3) 令和6年1月1日に北陸地方で発生した能登半島地震に係る災害義援金を受け付け、募集共同募金会へ送付した。

義援金の名称	募集共同募金会	件数	金額(円)
令和6年能登半島地震災害義援金	中央共同募金会	13 件	5,667,548

3 共同募金以外の特定寄付金、指定寄付金の受入れと助成

(1) 特定寄付金、指定寄付金

税制上の優遇措置を希望する共同募金以外の特定寄付金、指定寄付金については、前年度に引き続き、実績はなかった。

4 他団体助成事業の受託事務

(1) 公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団助成事業の推薦事務

中央競馬馬主社会福祉財団から中央共同募金会を通じて事務を受託し、当財団の助成を要望する施設を募集し審査のうえ、次のとおり推薦した。(受託事務費205,000円)

施設名	所在地	助成額(円)	使途指定内容
和合こども園(認定こども園)	浜松市	1,000,000	大型遊具下安全マット施工
ディアコニア(特別養護老人ホーム)	袋井市	1,600,000	洗濯設備更新
やすらぎの里(特別養護老人ホーム)	浜松市	600,000	食堂用テーブル整備
あおい荘(特別養護老人ホーム)	焼津市	2,700,000	介護用ベッド整備
計(4)		5,900,000	
前年度(3)		5,620,000	

(2) 公益財団法人車両競技公益資金記念財団助成事業の申請受付事務

車両競技公益資金記念財団から中央共同募金会を通じて事務を受託し、当財団の助成を要望する施設・団体の募集及び申請書の受付業務を代行した。(受託事務費40,000円)

施設・団体名	所在地	助成額(円)	使途指定内容
認定こども園 こども広場あんり	掛川市	3,940,000	暖冷房空調設備取替工事
計(1)		3,940,000	
前年度(1)		4,000,000	



5 顕彰活動

(1) 令和5年度全国社会福祉大会における表彰

令和5年11月15日(水)、浅草公会堂(東京都台東区)において、令和5年度全国社会福祉大会が開催され、本県関係では次のとおり表彰された。

① 厚生労働大臣表彰

表彰区分	件数	条件	備考
共同募金運動奉仕団体	1団体	20年以上	

② 中央共同募金会会長表彰

表彰区分	件数	条件	備考
奉仕功労者	2名	10年以上	
優良地区・団体	2団体	10年以上	

(2) 令和5年度静岡県健康福祉大会と表彰

令和5年10月23日(月)、グランシップ(静岡市駿河区)において、ふじのくに健康福祉キャンペーン推進協議会の主催による令和5年度静岡県健康福祉大会を開催し、次のとおり表彰した。(共同募金会会長表彰の代表受領者は個人1、団体1)

① 静岡県知事褒賞

表彰区分	件数	条件	備考
共同募金運動推進者	2団体	15年以上	

② 静岡県共同募金会会長表彰

表彰区分	件数	条件	備考
募金ボランティア個人	8名	3年以上	
募金ボランティア団体	21団体	〃	

(3) その他の顕彰

表彰区分	件数	条件	備考
厚生労働大臣感謝状	1件	個人100万円以上 団体300万円以上	団体1件
中央共同募金会会長感謝楯	1件	個人 50 万円以上 団体 100 万円以上	個人1件
中央共同募金会会長感謝状	0 件	個人20万円以上 団体60万円以上	
静岡県共同募金会会長感謝状	159件	5万円以上	



第4 小山町社会福祉協議会元職員による不祥事案件

令和5年度、小山町社会福祉協議会(以下「小山町社協」という。)で、元職員による複数の受託業務等に係る着服事件が発生し、共同募金の寄付金等も着服されたことが判明した。このため、本会としては様々な対応を行った。

1 不祥事案件の概要及び小山町社協の対応

(1) 小山町社協の不祥事発覚から損害額等請求と告訴状(資料)提出までの流れ

① 方針

被害額を全額回収するため、小山町社協側弁護士から相手側弁護士に被害額を示し、告訴より先に返済させ、確認後に告訴状を提出。

② 主な経過

日付	内容	概要
R5.4	未収金調査不備	配食サービス未収金調査不備について、元職員を職務怠慢としてけん責処分
R5.5.23	不祥事発覚	事務委託団体からの指摘により不祥事案件が発覚
R5.6.8	関係者懲戒処分	当時の会長及び事務局長を報酬等1/10(1ヵ月)減額、部門責任者をけん責処分
R5.6.10	新聞報道	新聞等に報道される
R5.6.10	共募調査通知	県共同募金会(以下、「県共募」)から調査依頼を受ける
R5.6.12	共募調査	県共募による緊急実地調査に対応。以後、県等の特別監査等実施
	警察相談	県共募の要請により御殿場警察に相談
R5.6.13	告訴決議	理事会は、県共募の要請により不祥事案件の告訴を決議
R5.6.14	元職員懲戒解雇	元職員を懲戒解雇処分
R5.6.28	弁護士依頼	弁護士依頼。以降、調査資料により調書作成手続きに着手
R5.7	相手側弁護士	元職員への今後の連絡は弁護士を通すよう連絡が入る
R5.8.17	元職員面会	元職員と小山町社協、双方の弁護士が一堂に面会、自認書作成について協議を開始。元職員は、一部の着服を認めず
↓	弁護士間協議	(以降は弁護士間協議に移行)
R5.9.7	再発防止策検討	不祥事再発防止対策検討委員会開催(～R6.2.6まで3回)
R6.2.19	被害額確定	全被害額が確定(うち共同募金被害額699,614円)
R6.2.26	被害額返済	被害額の返済受理
R6.3.29	答申	小山町社協不祥事再発防止対策検討委員会から答申を受理
R6.4.3	告訴状(資料)提出	告訴5団体の告訴状(資料)を御殿場警察署長宛提出
R6.4.15	記者提供	県政記者クラブへ記者会見について記者提供
R6.4.16	記者会見	15時から小山町健康福祉会館にて記者会見開催(報道9社出席)

(2) 告訴

告訴状(資料)提出	令和6年4月3日(水) 御殿場警察署長宛に提出
告訴団体 (※各団体ごとに告訴状(資料)を提出)	① 社会福祉法人小山町社会福祉協議会 ② 社会福祉法人静岡県共同募金会小山町共同募金委員会 ③ 小山町遺族会 ④ 小山町シニアクラブ連合会 ⑤ 小山町赤十字奉仕団 ※1 5団体の被害額合計 4,889,261円 ※2 小山町社協の損害賠償請求額(不祥事対応のための諸経費) 2,153,855円
被告訴人	小山町社協元職員(30歳代、男性、勤続11年2ヵ月) (担当業務) ボランティア活動推進、配食サービス、住民参加型サービス、団体業務

(3) 不祥事発生要因

- ① 小山町社会福祉協議会元職員の倫理観及びコンプライアンス意識の一部欠如並びに業務に対する過度な甘えがあったと考えられる。
- ② 小山町社会福祉協議会の当時の会長及び事務局長が管理監督者としてのコンプライアンス意識が希薄であったため、組織としての内部牽制機能が働いていなかった。
- ③ 小山町社会福祉協議会の経理規程及び同細則に則る会計処理が一部なされていなかった。



2 本会の対応

(1) 市町社会福祉協議会への適正事務の徹底

日 付	内 容	概 要
R5.6.10	不祥事把握	新聞等の報道で小山町社協の不祥事を把握
	調査依頼	・小山町社協の事務局長(当時)に電話連絡 ・共同募金委員会の業務調査を依頼 ・6月12日に実地調査を行うことを通知
	会長他報告	会長、監事、外部監査人に不祥事案件に対する実地調査の実施を通知(以後、会長に随時報告し指示を仰ぐ)
R5.6.12	共募調査 告訴示唆	小山町社協に対し緊急実地調査実施 小山町社協に対し、告訴を示唆
R5.6.13	監事に相談	監事(うち1名弁護士)に報告し、今後の対応を相談
R5.6.14	全国通知 (全社協)	全社協から通知発出 「社協による不適正事案の発生・再発防止の取組強化に向けた周知のお願い」
R5.6.15	役員他報告	理事会及び評議員会に報告。以降、配分委員会、理事会(続報)等に報告
R5.6.19	管理職会議	県社協開催の市町社会福祉協議会緊急事務局長会議で適正事務の徹底依頼 (参加) ・市町社協事務局長(全35市町社協) ・税理士 ・静岡県健康福祉部 ・全国社会福祉協議会(本会と全国調査に向けた協議) ・中央共同募金会
R5.6.21	中央共募への報告	中央共募に出向き不祥事のお詫びと報告を行うとともに、全国に向けて全社協と連携した指導徹底を依頼
R5.6.26	全国通知 (中央共募)	中央共募から通知発出 「市町村共同募金委員会による不適正事案の発生と、再発防止の取組強化のお願い」
R5.7.27	担当者会議	市町共同募金委員会事務担当者会議で適正事務の徹底依頼 参加:市町共募担当者(全35社協50名)
R5.8.3	ブロック会議	市町社協中部地区連絡会で適正事務の徹底依頼
R5.8.7	//	西部ブロック社協連絡会で適正事務の徹底依頼
R5.10.6	全国協議	中央共募主催の不適正事案発生防止に係るオンラインサロンに参加
R5.10.11	全国調査開始	全社協による会計業務を重点とした全国一斉点検を開始
R6.2.1	県内調査開始	本会による県内社協を対象とした共募会計業務(現金等)調査を開始
R6.2.7	全国調査結果	全社協による県内調査結果を受理
R6.3.13	県内調査結果	理事会に対し、本会による調査の結果を報告

(2) 今後の対応(市町社会福祉協議会への実地調査)

本会が2月に実施した市町社協へのアンケート結果では、一部の社協に不適切な会計事務取り扱いを行っていると思われるものがあった。

その結果を基に、次年度以降、不適切取り扱いの可能性がある市町社協を優先的に、各市町社協への実地調査を行い会計事務の実態を把握する。

調査で問題点が発見された社協に対しては指導等を行い、不適切案件発生防止のための事務改善を求めていく。



第3部 法人運営

第1 会務の運営

1 理事会

開催時期・会場	審議事項	備考
【第300回】 令和5年5月29日(月) 静岡県総合社会福祉会館 5階集会室 (定足数) 総数11名(定員9～11名) 出席者10名 ※監事 1名出席	【報告事項】 (1)定款第24条ただし書きにより会長が専決した事項の報告について ①令和4年度課題解決プロジェクト募金の助成措置 ②令和4年度共同募金(一般募金)への寄付物品による助成措置 ③台風第15号災害に関する助成措置 ア. 社会福祉法第118条に基づく災害等準備金助成 イ. 災害見舞金贈呈要領に基づく見舞金の贈呈 ④ 経理規程第10条に定める勘定科目の追加 ⑤ 職員の採用 (2)知事報告について (3)実地監査結果の報告について 【決議事項】 第1号議案 評議員候補者(補欠)の推薦及び評議員選任・解任委員会の招集について 第2号議案 令和4年度事業報告の承認について 第3号議案 令和4年度計算書類等の承認について 第4号議案 次期理事候補者の提案について 第5号議案 次期監事候補者の提案について 第6号議案 定時評議員会の招集について 第7号議案 令和5年度共同募金(一般募金)広域目標額(市町共募扱い)について	・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議
【第301回】 令和5年6月15日(木) 静岡県総合社会福祉会館 1階103会議室 (定足数) 総数11名(定員9～11名) 出席者7名 ※監事 2名出席	【報告事項】 (1)評議員の選任について (2)定款第24条ただし書きにより会長が専決した事項の報告について ①令和5年度課題解決プロジェクト募金の助成措置 (3)第177回評議員会(令和5年度定時評議員会)の結果について 【決議事項】 第1号議案 会長、副会長及び常務理事の選定について	・原案どおり決議
【第302回】 令和5年7月14日(金) 静岡県総合社会福祉会館 5階集会室 (定足数) 総数11名(定員9～11名) 出席者7名 ※監事 2名出席	【報告事項】 (1)小山町社会福祉協議会職員による不祥事案件に対する対応について(第2報) (2)会長及び常務理事の職務執行状況の報告について (3)定款第24条ただし書きにより会長が専決した事項の報告について ①令和5年度(公財)中央競馬馬主社会福祉財団助成要望団体の推薦 ②経理規程第10条に定める勘定科目の追加 (4)外部監査契約の継続について 【決議事項】 第1号議案 令和5年度(第73回)NHK歳末たすけあいの助成方針について 第2号議案 令和5年度課題解決プロジェクト募金の実施について 第3号議案 災害等準備金(令和元年度積立分)の取崩について 第4号議案 令和5年度共同募金の目標額、受配者の範囲、配分の方法について	・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議



開催時期・会場	審議事項	備考
【第178回】(決議の省略) 令和5年8月29日(火) 総数14名(定員12～14名) 同意14名(書面)	【決議事項】 第1号議案 理事の補欠選任について	・原案どおり決議

3 監事監査

開催時期・会場	審議事項	備考
令和5年5月10日(水) 静岡県総合社会福祉会館 5階生活訓練室 監事2名出席(定員2名)	1 令和4年度の理事の職務の執行の監査 2 令和4年度の業務及び財産の状況の監査 ※公認会計士兼高則之氏による「独立監査人の監査報告書」は 令和5年6月15日受理	事業の適正・計算 関係書類及び財 産目録の適正が 認められた。

4 評議員選任・解任委員会

開催時期・会場	審議事項	備考
【第12回】 令和5年5月29日(月) 静岡県総合社会福祉会館 5階集会室 (定足数) 総数5名(定員5名) 出席者5名	【審議事項】 第1号議案 評議員の補欠選任について	・原案どおり決議
【第13回】 令和6年1月22日(月) 静岡県総合社会福祉会館 5階生活訓練室 (定足数) 総数5名(定員5名) 出席者5名	【審議事項】 第1号議案 評議員の補欠選任について	・原案どおり決議

5 配分委員会

開催時期・会場	審議事項	備考
【第65回】 令和5年7月3日(月) 静岡県総合社会福祉会館 5階集会室 (定足数) 総数13名(定員13名) 出席者8名	【報告事項】 (1)小山町社会福祉協議会職員による不祥事案件について (2)第64回配分委員会承認事項に関する第299回理事会での結果 について (3)令和4年度共同募金運動の実績について (4)配分委員会規程第8条第7項により委員長が専決した事項の報 告について ①令和4年度課題解決プロジェクト募金による助成措置 ②令和4年度共同募金(一般募金)への寄付物品による助成措置 ③令和5年度共同募金(一般募金)への寄付物品による助成措置 ④令和4年台風第15号災害に関する助成措置 ア. 社会福祉法第118条に基づく災害等準備金助成 イ. 災害見舞金贈呈要領に基づく見舞金の贈呈 (5)職員の採用について (6)実地監査結果の報告について 【審議事項】 第1号議案 委員長の選出について 第2号議案 令和5年度(第73回)NHK歳末たすけあいの助成方針 について 第3号議案 令和5年度課題解決プロジェクト募金の実施について 第4号議案 災害等準備金(令和元年度積立分)の取崩について 第5号議案 令和5年度共同募金の助成計画について 第6号議案 令和5年度(公財)中央競馬馬主社会福祉財団助成事業	・原案どおり承認 ・原案どおり承認 ・原案どおり承認 ・原案どおり承認 ・原案どおり承認 ・原案どおり承認



開催時期・会場	審議事項	備考
	に係る推薦について	
【第66回】(決議の省略) 令和5年9月25日(月) 総数13名(定員13名) 同意13名(書面)	【審議事項】 第1号議案 委員長の選出について	委員長 清野文雄
【実地調査】 令和6年1月9日から 令和6年2月8日まで (延べ16日間)	配分委員13名により、令和5年度共同募金による助成事業に申請のあった64施設、グループ、団体の実地調査を実施した。	
【第67回】 令和6年2月29日(木) 静岡県総合社会福祉会館 5階集会室 (定足数) 総数13名(定員13名) 出席者11名	【報告事項】 (1)令和5年度共同募金運動の状況について (2)配分委員会規程第8条第7項により委員長が専決した事項の報告について ①令和5年度地域歳末たすけあい募金による助成措置 ②令和5年度共同募金(一般募金)への寄付物品による助成措置 (3)令和6年能登半島地震災害への対応状況について 【審議事項】 第1号議案 令和5年度共同募金(一般募金)による助成について 第2号議案 令和5年度地域歳末たすけあい募金の剰余金による助成について 第3号議案 令和5年度(第73回)NHK歳末たすけあいによる助成について 第4号議案 令和5年度災害ボランティア活動用機器整備事業の助成について 第5号議案 令和6年能登半島地震に対する災害等準備金の拠出について 第6号議案 令和6年度助成要綱の制定について 第7号議案 助成要綱に定める本会が特に認めたものに関する内規の一部改正について 第8号議案 災害等準備金(令和2年度積立分)の取崩について	・原案どおり承認 ・原案どおり承認 ・原案どおり承認 ・原案どおり承認 ・原案どおり承認 ・原案どおり承認 ・原案どおり承認

6 本会開催の会議等

会議名	開催時期	対象者
市町共同募金委員会事務担当者会議	7月27日(木) (オンライン)	市町共募職員:32市町50名 (対象:事務経験1~2年目の職員)
市町共同募金委員会事務担当者 Web 勉強会 (集計完了/仮決算)	1月31日(水) (オンライン)	市町共募職員:24市町31名 (対象:希望者)
令和6年度共同募金運動市町版チラシ検討会	2月27日(火) (オンライン)	市町共募職員:5市町5名 (対象:富士宮市、静岡市、浜松市、島田市、長泉町)
助成金交付説明会	3月28日(木)	助成先56施設・団体



(助成金交付説明会)



第2 その他の会務の運営

1 関係機関との連携

(1) 中央共同募金会主催の会議等

会議名	開催時期	対象者
都道府県共同募金会職員会議	4月25日(火)、26日(水)(オンライン)	主事
赤い羽根データベース「はねっと」活用説明会	5月19日(金)(オンライン)	主事
第198回評議員会	6月21日(水)	常務理事
第249回理事会	6月21日(水)(オンライン)	梶谷副会長
都道府県共募職員オンラインサロン	6月22日(木)(オンライン)	主事
第12回赤い羽根全国ミーティング	7月3日(月)、4日(火)	主事
顕彰審査委員会	9月15日(金)(書面審査)	常務理事
不適正事案発生防止に係るオンラインサロン	10月6日(金)(オンライン)	常務理事、事務局長、主事
インボイス制度及び電子帳簿保存法に係るランチョンセミナー	10月11日(水)(オンライン)	事務局長
都道府県共同募金会職員研修会	11月1日(水)、2日(木)	主事
第251回理事会	11月10日(金)	清野副会長
社会貢献セミナー	12月6日(水)(オンライン)	常務理事、事務局長
ブロック幹事連絡協議会	1月26日(金)(オンライン)	常務理事
都道府県共同募金会常務理事・事務局長会議	2月9日(金)(オンライン)	常務理事、事務局長
第252回理事会	2月22日(木)	清野副会長
モデル事業オンライン説明会	2月26日(月)	常務理事、事務局長、主事
能登半島地震現地状況報告会	3月6日(水)	主事

(2) 社会福祉協議会主催の会議等

会議名	開催時期	参加者
市町社会福祉協議会新任事務局長研修会	4月20日(木)(オンライン)	常務理事
市町社会福祉協議会事務局長会議	5月26日(金)	常務理事、事務局長
市町社会福祉協議会緊急事務局長会議	6月19日(月)	事務局長、主事
県社会福祉協議会災害ボランティア活動用機器覚書締結式	6月28日(水)	常務理事
市町社会福祉協議会中部地区連絡会	8月3日(木)	常務理事
西部ブロック社会福祉協議会連絡会	8月7日(月)、11月27日(月)、2月22日(木)	常務理事、事務局長、主事
県社会福祉協議会災害支援活動を行う県域団体との情報交換会	2月13日(火)	事務局長、主事
県社会福祉協議会夢みらい応援資金贈呈式	2月27日(火)	常務理事

(3) その他の会議、外部研修等

会議名(主催)	開催時期	参加者
監事監査研修(静岡県社会福祉協議会)	4月21日(金)～5月15日(月)(オンライン)	監事、事務局長
職員接遇研修(静岡県社会福祉協議会)	5月19日(金)	主事、嘱託員
関東ブロック共募職員研究協議会(埼玉県共募)	7月18日(火)	主事

2 共同募金運動募金経費

昭和42年9月19日付社庶第340号厚生省社会局長通知の求める“経費率概ね10%”を達成するために、寄付物品の受け入れなど新たな募金手法にも挑戦し募金総額の増加につなげるとともに、募金経費は常にその内容を分析・精査し、必要最小限で最大の効果を上げるよう努めた。

年度	募金経費	経費率 (募金総額に対する募金経費)	内 容
5年度	72,995,257円 (うち市町共同募金委員会経費 14,978,993円)	14.97%	人件費、事業費、事務費、中央共同募金会分担金、減価償却費ほか
前年度	67,567,917円 (うち市町共同募金委員会経費 15,012,629円)	13.30%	同上

3 社会福祉法人指導監査

社会福祉法第56条に基づく所轄庁(静岡市)による社会福祉法人指導監査は、5年に1回の周期で行われるので、今年度は対象外であった。なお、次回は令和6年度の予定である。



第3 社会福祉法人静岡県共同募金会役員等名簿

1 理事・監事

[令和6年3月31日現在] 理事定数9～11名(現員11名) 監事定数2名(現員2名)

役職名	氏 名	役職名	氏 名
会 長(理事)	柴 田 久	理 事	米 山 英 二
副会長(理事)	清 野 文 雄	〃	繁 田 昇
副会長(理事)	岩 倉 睦 弘	〃	本 郷 徹 志
副会長(理事)	廣 野 篤 男	常務理事	影 島 秀 明
理 事	中 村 正 蔵	監 事	青 島 伸 雄
〃	高 橋 敏 行	〃	萩 原 綾 子
〃	岩 崎 四 郎		

2 評議員

[令和6年3月31日現在] 評議員定数12～14名(現員14名)

役職名	氏 名	役職名	氏 名
評議員	中 村 泰 昌	評議員	岩 崎 康 江
〃	窪 田 賢 一	〃	鈴 木 良 則
〃	柳 川 実	〃	天 野 崇 志
〃	塩 崎 克 幸	〃	角 山 雅 典
〃	芦 川 清 司	〃	戸 野 谷 宏
〃	田 宮 文 雄	〃	田 中 尚 弘
〃	鈴 木 孝 一	〃	渡 邊 順 子

3 評議員選任・解任委員会委員

[令和6年3月31日現在] 委員定数5名(現員5名)

役職名	氏 名	役職名	氏 名
委 員(外部委員)	池 田 幸 男	委 員(監事)	萩 原 綾 子
〃	佐々木希世子	〃 (職員)	藤原由佳子
〃	植 松 政 人		

4 配分委員会委員

[令和6年3月31日現在] 委員定数13名(現員13名)

役職名	氏 名	役職名	氏 名
委 員 長	清 野 文 雄	委 員	田 宮 文 雄
副委員長	影 島 秀 明	〃	澤 木 達 治
委 員	本 郷 徹 志	〃	野 村 諒 子
〃	鈴 木 良 則	〃	天 野 崇 志
〃	鈴 木 亨	〃	種 本 鏡 子
〃	宮 崎 真 弘	〃	清 水 久 美 子
〃	日 詰 一 幸		

5 職 員

[令和6年3月31日現在]

役職名	氏 名
常務理事	影 島 秀 明
事務局長	藤原由佳子
主 事	常 盤 寛 子
〃	杉 山 大 輔
嘱託員	村 田 明 子
〃	石 川 ひ ろ み
調査専門員	大 野 彰 彦

【事務所所在地】
〒420-0856 静岡県葵区駿府町1番70号 静岡県総合社会福祉会館シズウェル4階 TEL 054-254-5212 FAX 054-254-6400 e-mail 22@shizuoka-akaihane.or.jp URL http://www.shizuoka-akaihane.or.jp/